

国見町歴史的風致維持向上計画

平成27年 2月23日 認定

令和5年3月30日 変更

福島県国見町

計画策定にあたって



国見町は、宮城県仙南地域、山形県村山・置賜地域、福島県県北地域の真ん中に位置することから、古代より仙台・米沢（日本海側）へ通じる陸上交通の要衝であり、現在も JR 東北本線、東北自動車道、国道4号が折り重なるように南北に縦断し、宮城県七ヶ宿町へ抜ける主要地方道白石国見線が東西に横断している交通の要衝です。

阿津賀志山防塁は、文治5年（1189）藤原泰衡が、源頼朝の率いる鎌倉軍を迎え撃った奥州合戦最大の激戦地である阿津賀志山に築造された 3.2 kmの長大な防御施設です。またこの地は、鎌倉・室町時代を通じ伊達氏が支配し、江戸時代以後は上杉氏や松平氏・天領と変遷しますが、奥州街道・羽州街道と宿駅が整備され、三つの宿場町を中心としてにぎわいを見せてきました。現在も往時を偲ばせる建造物と伝統的な活動が多数残されている町です。

しかし、社会環境の変化、生活の多様化、少子高齢化などにより民俗芸能・伝統行事・生活文化への関心が低調となりつつあるなか、平成23年（2011）に起きた東日本大震災・東京電力福島第1原子力発電所の事故により、この町に住み暮らすことへの明るい希望、現代の私たちが未来へ残すべき歴史的風致が失われようとしています。

本町は、歴史を活かしたまちづくりを進めるため「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき「国見町歴史的風致維持向上計画」を策定し、この地に住む私たちが、この町の「誇り」を再び取り戻し、私たちがその思いを共有できるような「まちづくり」を目指しています。

震災を契機と捉え、復旧・復興から町の再生に向け、この地で1000年培われてきた人々の知恵、文化、歴史を受け継ぎ、今を生きる私たちが未来へ伝えるため本計画の推進に取り組んでまいります。

終わりに、本計画策定に際して思いを一つに取り組んでいただきました国見町歴史まちづくり計画策定委員会委員をはじめ、ご協力・ご提言をいただきました皆さま方に深く感謝申し上げます。

国見町長

太田久雄

- 目 次 -

序 章 計画策定の背景・・・・・・・・・・・・・1

1. 計画策定の背景
2. 計画策定の体制
3. 国見町歴史まちづくり計画策定委員会及び法定協議会の設置
4. 計画策定の経緯

第1章 歴史的風致の背景・・・・・・・・・・・・・9

1. 自然的環境
2. 社会的環境
3. 歴史的環境
4. 文化財の分布状況

第2章 国見町の維持向上すべき歴史的風致・・・・・・・・37

1. あつかしやま阿津賀志山の合戦と顕彰・教育活動にみる歴史的風致
2. 旧奥州街道藤田宿における歴史的風致
 - (1) 旧藤田宿の町並み
 - (2) 鹿島神社例大祭にみる歴史的風致
 - (3) 在郷町の市いちにみる歴史的風致
3. 旧奥州街道貝田宿にみる歴史的風致
4. 石蔵と石工技術にみる歴史的風致
5. こうみょうじ光明寺集落の水利用にかかわる歴史的風致
6. うちや内谷春日神社の祭礼にみる歴史的風致
7. とっとりふくげんじ鳥取福源寺観音講にみる歴史的風致

第3章 歴史的風致維持向上に関する方針・・・・・・・・152

1. 国見町の歴史的風致の維持向上に関する課題
2. 上位・関連計画の状況と関連性

3. 歴史的風致の維持向上に関する方針
4. 計画の推進体制

第4章 重点区域の位置及び範囲・・・・・・・・・・168

1. 重点区域設定の考え方
2. 重点区域の範囲
3. 重点区域における歴史的風致の維持及び向上の効果
4. 良好な景観の形成に関する施策との連携

第5章 文化財の保存及び活用に関する事項・・・・・・・・181

1. 全町に関する方針
2. 重点区域に関する事項

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備

及び管理に関する事項・・・・・・・・195

1. 歴史的風致維持向上施設の整備・管理の考え方
2. 歴史的風致維持向上に資する事業

第7章 歴史的風致形成建造物に関する事項・・・・・・・・212

1. 歴史的風致形成建造物の指定の方針
2. 歴史的風致形成建造物の管理の指針となるべき事項
3. 歴史的風致形成建造物の指定候補

主な参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・218